

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 6 年 7 月 31 日(2024.7.31)

【公開番号】特開 2024-71525(P2024-71525A)

【公開日】令和 6 年 5 月 24 日(2024.5.24)

【年通号数】公開公報(特許)2024-095

【出願番号】特願 2024-48047(P2024-48047)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 7 月 23 日(2024.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定領域を通過した遊技球が入球可能な位置に設けられた第 1 入球手段と、
第 1 流路が形成される第 1 状態と、当該第 1 流路が形成されない第 2 状態とに変位可能な
変位手段と、を有した遊技機において、
前記第 1 入球手段は、前記第 1 流路に到達した遊技球のうち所定流路を流下した遊技球が
入球する位置に設けられ、
前記遊技機は、
前記第 1 流路に到達した遊技球であって前記所定流路を流下しない遊技球が到達し得る位
置に設けられており、前記第 1 流路とは異なる第 2 流路または前記第 1 流路とも前記第 2
流路とも異なる第 3 流路へと遊技球を振り分けることが可能な振分手段と、
前記第 2 流路を流下した遊技球が入球可能であって、前記第 1 入球手段とは異なる第 2 入
球手段と、
前記第 3 流路を流下した遊技球が入球可能であって、前記第 1 入球手段及び前記第 2 入球
手段とは異なる第 3 入球手段と、を備え、
所定の実行条件が成立した場合に前記変位手段が前記第 2 状態から前記第 1 状態へと変位
され得るように構成され、
遊技状態として、第 1 遊技状態と、その第 1 遊技状態よりも前記所定領域を通過した遊技
球が前記第 1 流路に到達し易い第 2 遊技状態と、を少なくとも有し、
前記第 2 遊技状態において、少なくとも所定要素に関する値が特定値に更新されたことで
成立し得る所定の終了条件が成立した場合に前記第 1 遊技状態となり得るように構成され
る
前記第 1 入球手段と、前記第 2 入球手段とのうち、一方の入球手段への遊技球の入球に応
じて前記所定要素に関する値が更新され得るように構成され、他方の入球手段への遊技球
の入球では前記所定要素に関する値が更新されることがないように構成され、
前記第 3 入球手段に遊技球が入球した場合には前記所定要素に関する値が更新されること
がないように構成されていることを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機には、特定の入球口や特定領域に遊技球が入球することに基づいて、当たり遊技等が実行されるようにするものが提案されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2011-010741号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

上記のような遊技機においては、更なる遊技の興趣向上が望まれている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、遊技の興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的としている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために本発明の遊技機は、所定領域を通過した遊技球が入球可能な位置に設けられた第1入球手段と、第1流路が形成される第1状態と、当該第1流路が形成されない第2状態とに変位可能な変位手段と、を有し、前記第1入球手段は、前記第1流路に到達した遊技球のうち所定流路を流下した遊技球が入球する位置に設けられ、前記遊技機は、前記第1流路に到達した遊技球であって前記所定流路を流下しない遊技球が到達し得る位置に設けられており、前記第1流路とは異なる第2流路または前記第1流路とも前記第2流路とも異なる第3流路へと遊技球を振り分けることが可能な振分手段と、前記第2流路を流下した遊技球が入球可能であって、前記第1入球手段とは異なる第2入球手段と、前記第3流路を流下した遊技球が入球可能であって、前記第1入球手段及び前記第2入球手段とは異なる第3入球手段と、を備え、所定の実行条件が成立した場合に前記変位手段が前記第2状態から前記第1状態へと変位され得るように構成され、遊技状態として、第1遊技状態と、その第1遊技状態よりも前記所定領域を通過した遊技球が前記第1流路に到達し易い第2遊技状態と、を少なくとも有し、前記第2遊技状態において、少なくとも所定要素に関する値が特定値に更新されたことで成立し得る所定の終了条件が成立した場合に前記第1遊技状態となり得るように構成され、前記第1入球手段と、前記第2入球手段とのうち、一方の入球手段への遊技球の入球に応じて前記所定要素に関する値が更新され得るように構成され、他方の入球手段への遊技球の入球では前記所定要素に関

10

20

30

40

50

する値が更新されることがないように構成され、前記第 3 入球手段に遊技球が入球した場合には前記所定要素に関する値が更新されることがないように構成されている。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の遊技機によれば、所定領域を通過した遊技球が入球可能な位置に設けられた第 1 入球手段と、第 1 流路が形成される第 1 状態と、当該第 1 流路が形成されない第 2 状態とに変位可能な変位手段と、を有し、前記第 1 入球手段は、前記第 1 流路に到達した遊技球のうち所定流路を流下した遊技球が入球する位置に設けられ、前記遊技機は、前記第 1 流路に到達した遊技球であって前記所定流路を流下しない遊技球が到達し得る位置に設けられており、前記第 1 流路とは異なる第 2 流路または前記第 1 流路とも前記第 2 流路とも異なる第 3 流路へと遊技球を振り分けることが可能な振分手段と、前記第 2 流路を流下した遊技球が入球可能であって、前記第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、前記第 3 流路を流下した遊技球が入球可能であって、前記第 1 入球手段及び前記第 2 入球手段とは異なる第 3 入球手段と、を備え、所定の実行条件が成立した場合に前記変位手段が前記第 2 状態から前記第 1 状態へと変位され得るように構成され、遊技状態として、第 1 遊技状態と、その第 1 遊技状態よりも前記所定領域を通過した遊技球が前記第 1 流路に到達し易い第 2 遊技状態と、を少なくとも有し、前記第 2 遊技状態において、少なくとも所定要素に関する値が特定値に更新されたことで成立し得る所定の終了条件が成立した場合に前記第 1 遊技状態となり得るように構成され、前記第 1 入球手段と、前記第 2 入球手段とのうち、一方の入球手段への遊技球の入球に応じて前記所定要素に関する値が更新され得るように構成され、他方の入球手段への遊技球の入球では前記所定要素に関する値が更新されることがないように構成され、前記第 3 入球手段に遊技球が入球した場合には前記所定要素に関する値が更新されることがないように構成されている。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

よって、遊技の興趣を向上させることができるという効果がある。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1 3 4 7 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1 3 4 7 9】

なお、上記各実施形態に記載の「球」が特許請求の範囲の「遊技媒体」又は「遊技球」に対応し、上記各実施形態に記載の「役物比率」が特許請求の範囲の「払出手段により払い出された前記遊技媒体の数に対する、前記第 1 入賞口への入賞に基づいて払い出された前記遊技媒体の数の比率」に対応し、上記各実施形態に記載の「連続役物比率」が特許請求の範囲の「払出手段により払い出された前記遊技媒体の数に対する、前記第 2 入賞口への入賞に基づいて払い出された前記遊技媒体の数の比率」に対応する。

<その他>

従来より、パチンコ機などの遊技機は、遊技盤面上に設けられた始動口に遊技球が入球すると、遊技の当否が抽選され、その抽選結果が当たりであった場合には、遊技者に有利となる特典遊技が実行されるものがある（例えば、特許文献 1：特開 2 0 1 2 - 2 1 7 7 6

6号公報)。

しかしながら、更なる遊技の興趣向上が求められていた。

本技術的思想は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技の興趣を向上できる遊技機を提供することを目的とする。

< 手段 >

この目的を達成するために技術的思想1の遊技機は、遊技球が入球可能な入球手段と、その入球手段に遊技球が入球したことに基づいて判別を実行可能な判別手段と、その判別手段による判別結果を示すための識別情報を表示手段に動的表示させることが可能な動的表示手段と、その動的表示手段により識別情報が動的表示される動的表示期間を決定することが可能な動的表示期間決定手段と、前記表示手段に特定の前記判別結果を示すための識別情報が表示された場合に、遊技球が開放状態に可変される可変入球手段と、前記可変入球手段に入球した遊技球が特定領域を通過したことに基づいて特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、を有した遊技において、少なくとも特典遊技における所定条件が成立したことに基づいて遊技者に所定数の遊技球を払い出すことが可能な払出手段と、その払出手段により払い出された遊技球に対応する情報が記憶される記憶手段と、を有し、前記遊技機は、前記記憶手段に記憶されている情報に対応して、前記特定領域に遊技球が通過する頻度を可変させることが可能なものである。

10

< 効果 >

技術的思想1記載の遊技機によれば、遊技球が入球可能な入球手段と、その入球手段に遊技球が入球したことに基づいて判別を実行可能な判別手段と、その判別手段による判別結果を示すための識別情報を表示手段に動的表示させることが可能な動的表示手段と、その動的表示手段により識別情報が動的表示される動的表示期間を決定することが可能な動的表示期間決定手段と、前記表示手段に特定の前記判別結果を示すための識別情報が表示された場合に、遊技球が開放状態に可変される可変入球手段と、前記可変入球手段に入球した遊技球が特定領域を通過したことに基づいて特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、を有した遊技において、少なくとも特典遊技における所定条件が成立したことに基づいて遊技者に所定数の遊技球を払い出すことが可能な払出手段と、その払出手段により払い出された遊技球に対応する情報が記憶される記憶手段と、を有し、前記遊技機は、前記記憶手段に記憶されている情報に対応して、前記特定領域に遊技球が通過する頻度を可変させることが可能なものである。

20

30

よって、遊技の興趣を向上することができるという効果がある。

40

50